

雜 報

大根ノ收穫

舊小動物小屋跡ノ地面ヲ本所全職員協力シテ耕シ、大根ノ種蒔シタヘ去ル8月下旬デアツタガ其ノ後凡3ヶ月ヲ經テ大根モ實ツテ來タノテ12月4日大根ビキヲ行ツタ。大根ハ甘藷ト異ナリ種蒔後ノ手入レガ面倒デ、ソノ收穫モ芳シクナカツタガ、ソレニシテモ總收穫量40貫ヲ突破シ、晝ノ休ミ時間ナドヲ利用シ丹誠ニ世話シタ部ノトコロデハ見事ナ出來映デアツタ。

冬休ミ中止

大東亞戰爭ハ苛烈ノ一路ヲ辿リ、戦局豫測シ難イ今日ニ於テハ國民悉クガ、戦闘配置ニツク決意ガ必要デアリ、擧ゲテ戦力増強ニ邁進スベキ秋デアリ、本所ニ於テハ次官會議ノ申シ合セニ基ヅキ例年ノ如キ28日ヲ以ツテ御用納メダナドトイフ舊體制ヲサラリト捨テ、來春1月1日ヨリ3日マデノ3日間ノ休ミノ外ハ平常通り研究作業ヲツヅケルコトニナツタ。

學術集談會

去ル12月16日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。岡本、安中ノ兩者カラR型「チフス菌」ノ耐熱性特異抗原ニツイテノ演題ノ通知ガアツタガ岡本君病氣缺席ノタメ來春1月ノ本會マテ繰下ゲルコトニシタ。石井所員カラ「デング病毒」ヲ以ツテ廿日鼠ヲ定型的ニ發症セシメ得ルコトニ成功シタ旨發表サレタガ注目ニ値シタ。今後各方面ニ互リ長足ナ進展ヲ遂ゲルコトデアラウ。小島所員ガ肺炎ノ治療ト豫防ニツイテ綜説サレタガ、行き過ギタ傾向ノアル化學療法萬能者ニ對シ血清療法ノ存在ヲ思ヒ出サシメル清涼劑トモナレバ幸デアル。尙當

日ノ演題ハ次ギノ通りデアツタ。

1. ゲルトネル氏菌竝ビニ鼠「チフス菌」ノS.R異變ト免疫原性トノ關係ニ就テ 豊田 哲夫
2. 破傷風「トキシソイド」ノ免疫元性ノ測定法ニ就テ 田中 哲之助
利部 光四郎
三宅 忠雄
3. 「ウィールス」中和反應ノ定量的研究 松本 稔
4. 群馬縣下某農村ニ於ケル「レプトスピラ」ノ顯性竝ビニ不顯性感染ニツイテ 北岡 正見
小川 道郎
5. 「デング熱」ニ關スル研究(第六報)増強病毒ニ關スル研究 石井 信太郎
鴨 脚 光 増
矢 島 嘉 清
三 苦 靖 子
大 串 卓 郎
木 村 京 子
6. 「デング熱」ニ關スル研究(第七報)免疫ノ實驗的研究 石井 信太郎
木 村 京 子
大 串 卓 郎
7. 結核菌ノ新液體培養基ニ就テ(附、結核菌特殊培地ノ經濟的使用法) 中 村 敬 三
大 須 賀 謙 一
8. 結核菌顆粒染色ノ簡便法 中 村 敬 三
奈 良 博
9. 肺炎ノ治療ト豫防ニ就テ(綜説) 小 島 三 郎

雜報

新年祝賀式

昭和19年(皇紀2604年)1月元旦、大東亞戦争ノ大詔煥發サレテ以來3度目ノ新春、之ノ間皇軍ハ陸ニ、海ニ、空ニ善謀勇戦シ、銃後モ戦時體制ノ下ニ、コレニ協力シ、今日ノ佳キ日ヲ迎フルコトガ出來タ。コレ偏ニ大稜威ノ然ラシムルトコロデアアル。午前11時本所職員一同講堂ニ相集リ、三田村所長所勞ノタメ、宮川前所長代ツテ祝詞ヲ述べ本年コソ最モ重大ナ年デアアルコトヲ強調サレ、一同聖戰完遂ノ決意ヲ新ニシタ。式後一同食堂ニ集リ細ナ祝宴ヲ催シタ。

文部省査察委員來所

去ル2月8日(火)文部省科學研究ノ査察委員トシテ稻田名譽教授並ビニ宮川教授ガ來所サレ午前10時ヨリ午後4時マテ各種研究業績ヲ査察サレタ。査察ハ去ル5日(土)ニ行ハレル豫定デアツタガ、稻田先生ノ御都合ニヨリ延期サレタモノデアアル。

學術集談會

去ル1月20日(木)本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。綜説トシテ細谷教授カラ「コレネバクテリア」ニ關スル廣汎ナ研究業績ガ發表サレタガ、新春ヲ飾ルニ相應シイ壓巻デアリ、該菌ハ細菌學上汲メドモ盡キヌ興味ヲ我々ニ與ヘタ。尙當日ノ演題ハ次ノ通りデアアル。

1. 日本流行性腦炎ノ蚊ニヨル傳播ニ關スル實驗的研究 三上四郎
2. 流行性感冒病病毒ニ關スル朝鮮産稿 栗鼠ノ感受性ニ就イテ 福見秀雄

3. 所謂 Dochez-Gordon 型病毒ト Gönert 型病毒トノ異同ニ就イテ

福見秀雄
草野信男

4. 「アンモニア」鹽素法ノ殺菌作用機轉ニ關スル研究

八田貞義
齋藤功
岡本啓

- 追加
5. R型「チフス」菌ノ耐熱特異抗原ニ就イテ

岡本啓
安中輝彦

6. 「テング」熱ニ關スル研究(第8報) 日本内地ノ媒介蚊棲狀況

石井信太郎 三苫靖子
矢島嘉清 大串卓郎
鴨脚光增 福田雅夫
木村京子 徳原秀子

7. 「フォルスマン」抗原抗体反應ニ基ク抽出臟器ノ「アナフィラキシー」性反應ニ就イテ

中村敬三
出原義男

8. 「チフテリア」保菌者、其治療並ビニ關聯セル諸問題(綜説)

細谷省吾

學友會へ寄附

- | | |
|-----------|--------|
| 一金 73圓49錢 | 松岡辰男君 |
| 一金 28圓52錢 | 道又喜四郎君 |
| 一金 30圓76錢 | 森藤靖夫君 |
| 一金 14圓66錢 | 小泉全孝君 |

雜 報

所内防空訓練

去ル2月19日(土)午後3時ヨリ細谷所員統監ノモトニ本年度第1次防空訓練ガ實施サレタ。今度ハ燈火管制、瓦斯、水道、危險藥品ノ處置、待避、避難、消防、消火、救護等ノ綜合訓練デアツタ。昨年12月8日大詔奉戴日ヲ期シ現在アル待避壕ヲ強化スル爲全職員協力シテソノ數ヲ多クシタ待避壕ヘノ待避、避難ヲモ訓練シタ。空襲必至ノ叫バレル今日意義深イモノデアツタ。

馬鈴薯ノ栽培

大東亞戰爭苛烈ノ一路ヲ辿リ、重大戦局ニ直面スルニ至リ、閑地利用食糧品確保ガ叫バレルニ至ツタ。本所ニ於テハ夙ニコノコトニ留意シ、遠山技師コレガ指導ニ當リ昨年来甘藷竝ビニ大根ヲ栽培シ、好成績ヲ舉ゲテ來タコトハ既ニオ知ラセシタ通りデアルガ、今年ハ更ニコノ方面ヲ擴大強化スルコトニナリ、昨今ノ馬鈴薯ノ栽植期デアルヲ幸ヒ、去ル2月29日(火)全職員勤勞奉仕ニヨリ堆肥ト藁灰ヲ各畑ニ施行シ、馬鈴薯ヲ栽培シタ。

學術集談會

去ル2月24日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。今月ハ再ビ小島所員ニ流行性感冒ニ關スル綜説ヲオ願ヒスルコトニシタ。敵米英ヲ初トシ、歐洲ニ於テ流行性感冒ガ流行シテ居ルトノ報道ガアリ、我が國內ニ於テモコレガ對策ニツキ各方面テ協議セラレテ居ル今日ニ於テ小島所員ノ綜説ハ意義深イモノデアツタ。尙當日ノ演題ハ次ギノ通りデアル。

1. 「カラアザール」ノ貧血ニ關スル研究
藤井 勇
2. 肺炎桿菌ノ解離變異ニ關スル研究
神山 信夫
3. 結核菌ノ新染色法ニ就テ
兒島 道弘
4. 「チフテリア」保菌者ノ治療ニ關スル研究
石綿 修
5. 「グイブリオンセブテイク」菌體外毒
素ハ種特異性ナリヤ
{宮崎正之助
{外山昂志
6. 静岡県天龍川畔ニ於ケル秋疫ノ流行病學

的調査 北岡正見

7. 各種「レプトスピラ」ノ抗原分析ニ關スル研究(第1報)
{北岡正見
{坂卷良男
8. 大東亞共榮圈内ニ於ケル日本腦炎病毒「セント・ルイス」腦炎病毒、アメリカ西型及ビ東型馬腦脊髄炎病毒ノ分布狀態ニツイテ
{城井尙義
{久池井忠男
{北岡正見
9. 「デング」熱ニ關スル研究(第9報)病毒ノ體内分布
{石井信太郎
{木村京子
{三苫靖子
小島三郎
10. 流行性感冒病毒(綜説)

學友會へ寄附

- 1金19圓68錢 五十嵐正治君
1金42圓98錢 飯高孔君

人事異動報告

昭19年3月11日現在

月日	記 事	官 職	氏 名
1. 1	研究生入學		山崎正郎
1.17	研究生退學		菅原芝郎
1. 8	研究生繼續許可	研究生	櫻田卓彌
1.28	中華民國へ出張ヲ命ス		
		教授	小島三郎
		技手	福見秀雄
1.31	依願解囑		小池芳江
1.31	研究生退學		中村康平
1.31	傳染病研究所業務ヲ囑託シ手當		
	1箇月金5拾圓給與		今井三喜
1. 5	依願免本官	技手	田中哲之助
1. 5	傳染病研究所業務ヲ囑託ス		田中哲之助
2.14	研究生入學		添田誠
2.24	研究生退學		藤井勇
2.29	依願解囑		近藤市雄
2.29	傳染病研究所業務ヲ囑託シ手當	1ヶ月	
	金5拾5圓給與		三宅忠雄
2.29	傳染病研究所業務ヲ囑託シ手當	1ヶ月	
	金5拾5圓給與		西宮恒
2.29	依願免本官	技手	津本淳三
3. 6	傳染病研究所業務ヲ囑託ス		野島徳吉

雜 報

防空壕ノ増設

空襲必至ト雖ヘドモ備アレバ憂ナシノ趣旨ノ下ニ。本所ニ於テモ。コレガ萬全ヲ期スルタメ防空壕ヲ増設スルコトトナリ。去ル3月30日午後3時ヨリ全職員一同ノ勤勞奉仕ニヨリ防空壕ガ掘ラレ。他方ニ於テ遠山技師監督ノ下ニ燃性危険藥品ノ貯藏所ガ設置サレタ。

各學會開催中止

例年4月トモナレバ各學會ガ開催サレ。本所カラモ多數出席シ。多年ノ研鑽ノ結晶ヲ發表シ。相切磋琢磨シ。研究針進ヲ熟慮スルノガ恒デアツタガ。今年ハ戦局ノ重大性ニ鑑ミ。戦時非常措置トシテ各學會ガ中止トナツタ。但シ各機關雜誌ヲ通ジテソレゾレ演説ノ内容ガ發表サレル豫定デアル。

學術集談會

去ル3月16日(木)本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。今月ハ山極技師カラ免疫馬ニツイテ病理解剖學的立場カラ興味アル綜説ガアツタ。各學會ハ戦時非常措置トシテ中止サレルニ至ツタガ。本所ノ學術集談會ハ從來通り續行サレル。尙當日ノ演題ハ次ノ通りデアツタ。

1. 流感病毒ト諸細菌トノ共働的意義
本多正明
2. 羊出血性敗血症菌 *Pasteurella ovisepitum*
ニ關スル研究特ニソノ菌體外毒素ニ就テ
久保田久

3. 「ウェルシュ菌」抗毒素馬血清ノ製造ニ關スル研究(續報) 飯高孔
4. 「チフス菌」抗原物質ニ關スル研究(第3報)特異多糖體ノ分離ニ就テ 芦田光三
5. 「チフス菌」抗原物質ニ關スル研究(第4報)特異多糖體ノ性状ニ就テ 芦田光三
6. 「デング熱」ニ關スル研究(第10報)「ラツテ」感染實驗
石井信太郎
福田雅子
木村京子
7. 齒顎口腔領域ニ於ケル諸種疾患ノ細菌叢
細谷省吾
添田百正
安藤正一
8. 葡萄狀球菌毒素ノ精製法
細谷省吾
出口宮禧
森恒子
9. 「デフテリア毒素」ノ精製法(第1報)
細谷省吾
出口光四郎
利部
10. 免疫血清馬損耗ノ一・二原因ニ就テ(綜説)
山極三郎

學友會へ寄附

金10圓29錢也 長谷川秀治君

岩田論文 正誤表

第一編 實驗醫學雜誌第27卷第2號

1. 272頁 4行目「影響」ヲ三行目冒頭ニオク
2. 277頁 第5表 Nr.12ノ「エーテル」硫酸及増減率ノ項5行目

29.1	+13.1	ハ	29.1	+13.1
------	-------	---	------	-------
3. 278頁 第4章 終項「56C. 30分間」ハ「56°C 30分間」
4. 279頁 第7表 Nr.16ノ第1日「エーテル」硫酸ノ項「22.9」ハ「42.9」
5. 283頁 第15表 脾臟左關「22」ハ「2.2」ト訂正

第二編 實驗醫學雜誌第27卷第5號

1. 474頁 00.5g ハ 0.05g ト訂正